

2015年岡山ユーザーズミーティング  
(2015年8月17-18日@国立天文台三鷹 大セミナー室)

## 岡山プログラム小委員会報告

植村誠(広島大学)

# プログラム小委員会メンバー

2015A

伊藤信成(系外銀河)  
関口朋彦(太陽系)  
深川美里(系外惑星、星形成)

交代

2015B

佐藤文衛(系外惑星)  
松永典之(変光星、低温度星)

竹田洋一(恒星化学組成、活動) [委員長]  
浮田信治(変光星、連星、共生星) [幹事]  
植村誠(変光星、連星、激変星)  
松尾太郎(系外惑星)

竹田洋一(恒星化学組成、活動)  
浮田信治(変光星、連星、共生星) [幹事]  
植村誠(変光星、連星、激変星) [委員長]  
松尾太郎(系外惑星)

観測所からのex officio:

泉浦秀行(所長)、神戸栄治(HIDES担当)、柳澤顕史(ISLE担当)、筒井寛典(KOOLS担当)

- 2011年からの委員3名が4年の任期を終了し、新たに2名が加入。
- 委員会メンバーを7人から6人に。
  - よりコンパクトな委員会でも問題ないのではないか。
- **現役のヘビーユーザーを委員に。**
  - 共同利用が大きく変わる時にユーザーが委員会に少ないのは問題では。

# 2015A プログラム小委員会

- 2014年11月14日(金) 10～15時@岡山コンベンションセンター
- 出席者
  - [出席委員] 植村、浮田、竹田
  - [スカイプ参加委員] 関口、深川、松尾
  - [出席ex officio] 泉浦、柳澤、神戸
- 議事の内容
  - 観測所報告(観測所の現状、夜数確認)
  - プロジェクト課題審査
  - 一般課題審査
  - 次期委員会のあり方について(人数、委員)
  - すきま時間の運用について(後述)

# 2015A 応募状況と採択結果

- 申請件数と要求夜数
  - プロジェクト1件(6期連続4期目) 要求夜数 25(今期)
  - **一般16件**(新規 7, 継続 9) 総要求夜数 155.6
  - 学位支援1件(4期連続3期目) 要求夜数 9(今期)
- 共同利用に使える夜数: 110夜
  - 所内時間:36夜
  - 倍率:1.7 (一般のみで 2.1)
- 割り当て結果
  - プロジェクト1件(6期連続4期目)採択 夜数 25
  - **一般13件採択** 総夜数 76.1
  - 学位支援1件(4期連続3期目)採択 夜数 9
  - 採択課題内訳:星5、系外惑星6、系外銀河2、その他2
  - 不採択課題内訳:星1、系外惑星2

# 2015B プログラム小委員会

- 2015年6月16日(金) 11～17時@OAO
- 出席者
  - [出席委員] 植村、浮田、佐藤、竹田、松尾、松永
  - [出席ex officio] 泉浦、柳澤、神戸、筒井
- 議事の内容
  - 観測所報告(観測所の現状、夜数確認)
  - プロジェクト課題審査
  - 一般課題審査
  - レフェリーは従来よりTAC委員にも匿名である旨、確認
  - 京大3.8mの共同利用、岡山188cmのその後の利用等について(後述)

# 2015B 応募状況と採択結果

- 申請件数と要求夜数
  - プロジェクト1件(6期連続5期目) 要求夜数 25(今期)
  - **一般21件**(新規 14, 継続 7)、すきま3件 総要求夜数 244.2
  - 学位支援1件(4期連続4期目) 要求夜数 10(今期)
- 共同利用に使える夜数: 118夜
  - 所内時間: 28夜
  - **倍率: 2.4 (一般のみで 2.9)**
- 割り当て結果
  - プロジェクト1件(6期連続5期目)採択 夜数 25
  - **一般13件採択** 総夜数 85
  - 学位支援1件(4期連続4期目)採択 夜数 10
  - 採択課題内訳: 太陽系1、星6、星形成1、系外惑星6、系外銀河2、その他2
  - 不採択課題内訳: 系外銀河2、系外惑星4、星2、

# すきま時間

- 背景

- 正規の観測をして、すきま時間が発生することがある(トランジット観測など)
- 短い時間でも観測できれば成果が挙がるテーマがある(モニター観測など)
- 新しいシステムで有効な時間活用が可能

- 内容

- 申請者は隙間時間観測を希望することを申請書に明記
- 実際の観測時間は保証されない
- プロ小では科学的価値、実現性や優先度について議論し、採否を決める(レフェリー評価は無し)
- プロ小での議論を参考に、実際の観測は観測所の判断に任せる

- 実績

- 2015A で2件採択、2015Bで3件採択。いずれも不採択になった申請は無し
- 2015Aでは3夜割り当て、2夜観測に成功。
- 今後も継続

# 188cmから3.8mへの共同利用の移行に関して プロ小からの提案

- ユーザーからの要望をまとめて要望書を作成します
  - ユーザー? = 「現188cm共同利用ユーザー」「新3.8mユーザー」「188cm以外の現岡山ユーザー」
  - 何への要望? = 3.8m望遠鏡での共同利用に対する要望
  - 要望先? = 国立天文台 (実際は岡山観測所&京大で検討)
- 目的: ユーザーの具体的な要望を国立天文台に伝える
- 内容: 必要な装置や、共同利用の移行に関するもの
  - 例: 系外惑星の視線速度サーベイを継続するため、HIDESと同様の高分散分光装置が必要
- スケジュール
  - 9月末: いくつかのグループからの要望書ドラフトを公開。さらに要望を募る
  - 10月末: 要望の案件の締切り。編集と調整作業の開始。
  - 年内: 完成、提出と公開
  - (要望が多岐にわたる場合は、議論の場としてWSの開催なども検討)